

第10回NPOまつり 2014 結果報告

『第10回NPOまつり 2014』では、メインタイトル「参加しよう、行動しよう、集まれば大きな力」サブタイトル「みんなで守ろう！わたしたちのまち」を掲げ、NPO・NGOなどの市民団体の発展を目指し、また、防災・減災・東日本大震災復興というテーマで【災害支援コーナー】を大きく展開しました。今年は、 Deng 熱問題があり、一部縮小したブースもありましたが、晴天に恵まれ前日準備、1・2日目全開催となりました。1日目約10,000人、2日目約10,000名の来場者がありました。（当日チラシも参照ください）

■日時 平成26年10月18日（土）10:00-21:00

19日（日）10:00-17:00

■会場 都立代々木公園イベント広場（渋谷区代々木神園町、神南二丁目）

■内容

・ NPOブース 66ブース

＜国内外で活躍している環境保護、子育て支援、高齢者・障害者支援、海外支援等のNPO・NGOの活動が見て触れて実感できる体験型紹介ブース＞

●装置設置・実演（木質ペレット推進）

●バイオディーゼルアドベンチャー（車両展示）

・ 災害支援コーナー

●東日本大震災支援コーナー（交流会、写真展、支援グッズ販売ほか）

●市民の心を「つなぎ」プロジェクト（支援金募集のための「つなぎ」販売）

●映画上映（立ち入り禁止区域 双葉 されど我が故郷）

●ステージカー「つばさ号」ステージ（支援物資移送車）

・ 本部飲食コーナー

福島県浪江町避難者有志（埼玉県労働者福祉協議会）：浪江焼きそば

福島県表郷ボランティアネットワーク：フランクフルト等

NALC(ニッポン・アクティブライフ・クラブ)：炭火焼サンマ

ガーネット宮城：炭火焼ホタテ、芋煮

アンテナショップ種子島：有機栽培焼き芋

コモンズファーム：有機栽培野菜、宮城県避難者交流会、ずんだカフェ

南会津と世田谷を結ぶ会：南会津物産品

ターニャの店：福島避難者によるロシア料理

災害支援団体ネットワーク：飲料

埼玉県キャンプ協会：飲料

NPO連携福島復興支援センター：風評被害に負けるな！がんばっぺ・いわき（農産物販売）

・ 本部ステージ

18日：司会：豊島 亮介（NPO法人NPO埼玉ネット）

PA：小山田織音（ユニバーサル志縁社会創造センター）

19日：司会：星倉夏希（埼玉NPO放送局）

PA：上原 龍

- ・ 市民キャビネット

<部会に分れた活動紹介・展示、政策提言の募集、ワールドカフェなど>

- ・ スタンプラリー 150名参加

<各ブースのスタンプ6個を集めて景品をGET！>

- ・ ふれあいコーナー

- 乗馬体験コーナー（クリオスティーブル）

- キッズバイクパラダイス

- 一般飲食コーナー

- まつり商店街

- ・ フリーマーケット

■成果

自主事業として、今年で10回目となるNPOまつりでは、NPO・NGO・市民活動団体の出展が66団体あり、来場された一般市民の方へスタンプラリーを通して、楽しみながらNPOの活動を知ってもらうことができました。また本部飲食コーナーを各参加団体の協力を得て開催できました。新規出店団体が多くあったのが特徴です。

ステージでは、NPO活動紹介・公開ラジオ収録・コンサート等を行いました。災害救助犬による人命救助のデモンストレーション、バイオディーゼルアドベンチャー（車両展示）、キビタン（福島県のマスコット）は来場者の注目を集めました。

フリーマーケット、飲食関係の出展があり、多種多様な各ブースは来場者のリサイクル品の購入や、飲食ブースでは家族で食事を楽しまれるなどで賑わいました。

NPOまつり2014の運営に関しましては、実行委員と多くのボランティアの方の参加と協力により、無事開催することができました。様々な分野を越えて、NPO・NGO・市民活動団体が協力し合いイベントを成功させることによってNPOのネットワーク作りができたと思います。これからの社会活動を支えるボランティアの輪も、NPOまつりを通してもっともっと広がっていくことを期待したいと思います。

